

# 少年メルダー隊通信



第38号

2017年

3月16日発行

SHONEN MELDÖR TAI TSUSHIN

貴之・友美にきく

## キュピールとのたたかいは旅

世界各地をこびまわり、キュピールとたたかっていた貴之と友美が日本に帰ってきた。これまでの出来事を少年メルダー隊の三人といっしょにふりかえってもらったよ。

だいち「友美ねえちゃん、貴之にいちやん、おかえりなさい。」

友美「ただいま。みんな元気そうね。」

貴之「やっぱり日本は落ち着くなあ。みんなの顔を見ることができてうれしいよ。」

あけみ「今日は、キュピールとのたたかいについていろいろ教えて！」



みどり「報告書を読んだのだけれど、あちこちいろんな国を旅していたのね。」

だいち「たまたまキュピール怪人たちはどれも強そうだったね。」

貴之「うん。これまでたまたまできた怪人はまた違った能力を持つやっぱかりでてよかったよ。」

あけみ「とても大変なたたかひの旅だったのね。」

みどり「それなのに、だいちくんったら（おみやげ買ってきてくれるかなあ）なんてのきななこと言っていたのよ。」

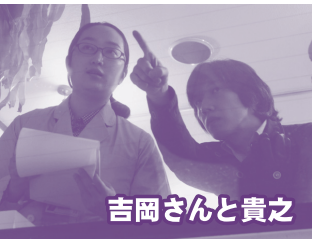
だいち「えへへ……。ごめんなさい。」

### ■旅先で出会った人々

だいち「キュピールとのたたかひであつた人たちもたくさんいたんだね。」

貴之「うん。みんな優しい人たちばかりだった。」

みどり「貴之おにいちゃんがおーストラリアであつた吉岡さんは、海洋研究者だったのね。」



吉岡さんと貴之

貴之「そう。彼女は海を愛し、海とともに生きる女性だった。最近、海底でおきている異常な爆発を彼女は調べていたんだよ。」

あけみ「海で起きていた事件は、みんなキュピールのしわざだったってこと？」

貴之「ああ。だから早く事件を解決して、おだやかな海を取り戻してあげたかった。それなのにトカゲキュピールはひれつな作戦で研究所をおそってきたんだ。」

だいち「トカゲキュピールのやつめ！」

友美「いまは、吉岡さんのあとをひきついで研究チームが調査を続けているんでしょ？」

貴之「そうなんだ。海底でも異常が起きていいるのは間違いないからね。安全な場所でも調査を続けてもらい、そのデータを送ってもらおうようお願いしているんだ。」

みどり「協力してくれる人たちがいるって、うれしいことだね。」

だいち「友美おねえちゃんがお友達になった、フィンランドのカレンさん。美人だよな！」

あけみ「だいちくんったら……また言ってる。」

友美「カレンはキュピールにお父さんを殺されたの。」



友美とカレン

みどり「お父さんがキュピールに……」

友美「お父さんのかたきをうつためにキュピールのアジトにせんにゆうして、動きを探っていた勇氣ある女性よ。」

だいち「わー！すごいや！」

友美「空手が得意だね。キュピール戦闘員なんかかんたんやつかつちやうの。たたかひが終わつたら、また会いたいわ。」

だいち「その時はほくもついでいこーつと！」

### ■キュピールの研究者

だいち「ヒエロス教授にはびつくりしたな。おじいさんだと思つたのに、カラカルキュピールに変身しちゃうなんて！」



ヒエロス教授



カラカルキュピール

友美「たしかに、ヒエロス教授はおじいさんだったけれど、「知恵の石」からエネルギーを与えられて、怪人になることができたのよ。」

貴之「デモンズシールドについて、もっと詳しく話を聞いたらよかったんだが……」

友美「研究者といえば、貴之がアフリカで出会った沙織さんはキュピールの研究者だったのよね。」



沙織さん

貴之「サイキュピールになってしまった山岡さんもキュピールの研究者だ。」



山岡さん

友美「二人ともキュピールのぎせいになってしまつて残念だったわね。貴之のお父さんのもとで一緒に研究していた人たちなんですよ？」

貴之「そうなんだ。父のことを知っている人は少ないから、二人に父の話を書きたかった……」

### ■次号に続きます

☆少年メルダー隊通信では、隊員からの情報をもつてるぞ。キュピールのもくげき情報など気になる情報をおくつてね。

少年メルダー隊通信は毎月16日発行です！みんなよろしくね！